

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス くれよん新田辺		
○保護者評価実施期間	令和8年2月9日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年3月13日		令和8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達段階に合わせた療育を提供しています。	小学部低・中高学年、中・高等部など、年齢に応じたクラス編成を行っています。集団での療育を基本としながら、所属しているメンバーにあわせて、プログラムの内容を設定しています。	小学校入学から、高校を卒業し社会に出るまでを包括してその年齢に応じた支援プログラムを実施いたします。既存のプログラムだけでなく、有効な新たなプログラムについても常に検討して支援を行ってまいります。
2	クラス制、プログラム制となっており、集団療育を実施しています。また、就労支援事業所や短期入所事業所が同施設内にあり、連携した支援を行っております。	クラスごとに特色を持たせ、コミュニケーション中心のクラス、就労訓練中心のクラス、低学年中心のクラスなど様々なクラスがあります。また、就労事業所での作業実習や、短期入所事業所と情報共有を行いながら生活面のサポートも行っております。	同法人内の他事業所との連携を強化し、就労に向けた力をつけるための学習や実習、生活スキルを身に付けるための支援なども行って参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の不足	SNSなどの活用ができていないことで、日々の活動の様子が保護者様に十分に共有できていない部分が課題だと思われます。また、自主通所をされている利用者様においては、直接引継ぎもできていない状況にあります。	個人情報の取り扱いには十分に注意しつつ、ホームページやSNSでの情報発信を検討していきます。また、利用者様個人の日々の様子については、SNSやアプリなどのツールを利用した情報発信も検討して参ります。
2	活動スペースが十分に確保できない場合がある	毎日ほぼ定員いっぱいの利用者様がきていることもあり、プログラム内容によっては活動場所の確保に苦慮することがあります。	雨天時に体育館を利用するなど、活動場所の確保を検討していきます。中高生の利用者様においては、運動量の確保も必要な課題であり、法人内の他部署とも連携しながら、活動場所の検討を行います。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス くれよん新田辺

公表日 令和8年5月30日

利用児童数 60

回収数 29

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	1	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	0	0	3		
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	4		
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	0	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1	0	1	・パソコン検定等を導入して欲しい。	将来の進路に活かせる力をつけるため、個々のニーズに応じて、パソコンやタブレットを使った学習なども検討していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	0	0	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	5	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	5	6	9		
保 護 者 へ の 説 明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	2	0	2		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	5	2	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	3	1	0	・LINE等・連絡帳）保護者から子どもの状況を共有する手段があればいいと思います。毎回ではなくても変化が多い時期や必要な時のみだけでも。	SNS等を利用した連絡手段については、多くのご意見をいただいております。運用可能な方法について模索してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1	1	2	・面談の回数少なく、様子がわかりにくい。アプリ等で報告があるとうれしいです。	面談の回数については次年度以降、回数を増やしていきたいと考えております。アプリを活用した情報発信についても検討してまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	0	0	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	4	9	・以前のようにいろんな活動があればうれしいです。	保護者様やきょうだい様も一緒に参加してもらえらるイベントや、ご家族様同士が交流ができる場などを企画・検討してまいります。	

明 等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	3	0	4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	2	1	2	・電話やアプリでその日の内容や様子が知りたい。 ・その日の活動の様子等もっと詳しく知りたいです、自主通学しているのでほとんど何も伝わってきません。	くれよん新田辺では、連絡帳のやり取りを実施していないため、普段の様子は対面で引継ぎをしておりますが、自主通所の利用者様の場合、日々様子が伝えられていない状況です。SNSの活用や、電話での報告など改善できる部分から進めていきたいと考えております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3	4	8	・予定表はあるが通信はない。	ホームページはあるものの、活用しての情報発信ができておりませんでした。活動の様子やイベントの予定など、既存の資源も活用して発信をしていきたいと考えております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2	0	13		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	15		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	1	9		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	9		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	0	0	1	・発語がなくなりませんが嫌がる様子はなく、帰宅後も落ち着いて過ごしています。	活動後自宅に帰られる際には、できるだけ穏やかに帰っていただけるよう支援をさせていただきますと考えております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	2	0	0	・子供は毎週楽しく通っており、親としても子供の特性を理解してくださっているので安心して預けています。いつもありがとうございます。ただ若いスタッフの方は少し緊張されているのか目が合った時にあいさつや会釈をいただけるとこちらも話やすくなり、助かります。	ご意見ありがとうございます。利用者様はもとより、ご家族様への挨拶や笑顔での対応など、接遇マナーに対しても事業所内での指導・研修を徹底して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス くれよん新田辺		公表日		令和8年 5月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員は常に埋まっている状況ですが、グループごとに教室を分けるなど、子どもたちが落ち着いて活動できるように工夫しています。	クラスによっては活動の部屋が狭く、クールダウン時のスペースが十分確保できていない場合もあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準を守るだけでなく、安全な支援ができるよう利用定員に対して手厚い職員配置を行っております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		グループごとに教室を分けたり、児童用のトイレや、車いすでも利用可能なトイレ、浴室を設置しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、スタッフが活動前後で清掃を実施しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンや個別での取り出しが可能な部屋を設置しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々のミーティングや、月に一回のスタッフ研修を実施しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に第三者評価を受け、支援の質の向上を目指しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社外研修の案内、部署内でのスタッフ研修を実施しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成には児童発達管理責任者だけではなく、個々のスタッフも参画し、複数人の視点から計画を作成できるよう工夫しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本は集団療育としてプログラムを実施しておりそれに向けた計画を作成しています。日々の活動の中で個別設定や取り出しを行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		中高生に関してはより自主性を持てるよう、話し合いや相談をプログラムの中にも取り入れて活動を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、相談支援事業所、学校、病院などの関係機関と連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校での支援状況や取り組み内容を必要に応じて先生にお聞きしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後、必要に応じて関係機関と連携を取って参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人内より職員が自立支援協議会メンバーとして参画しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の送迎やお迎え時に保護者様とお子さまの状況について共有させていただいております。	面談回数が少ないところ指摘を受けており、今年度には面談回数を増やすよう検討しております。また、SNSなどを利用して、日々の様子を保護者とやり取りする方法についても検討しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		法人内療育部や相談室主催の研修やセミナーを実施し、保護者様への案内をしています。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様やきょうだい様にも参加いただけるようなイベントや、保護者様同士の交流の場の提供などを検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ上での情報発信やSNSの活用を、個人情報の観点を重視しつつ、発信方法の検討を進めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		昨年度、保護者様に渡す書類の取り違えがあり、対策として封入時の2重チェックとお渡し時の保護者様との確認を徹底しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		現在、そのような機会を持つことが出来ておりませんが、地域住民の方への説明、ご理解を頂く努力を重ねてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故発生時対応マニュアルの作成しております。また、マニュアル等の職員の周知も行ってあります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2回の避難訓練を実施しております。また法人内でBCPの作成を進めており、備蓄品の準備も進めております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者様との面談や日々の引継ぎの中で、子どもの様子や病状の変化を確認させていただいています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に1回、社外研修への参加、社内研修の実施しております。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			